

科目分類	専門職の教育			開講学科	看護学科
科目番号	学年	担当セメスター	区分	単位数	授業時間数
73114	1	後期	必修	1	45
授業科目名 (英文)	基礎看護援助実習 I (生活援助実習) (Clinical Practice in Fundamentals of Nursing I)				
担当教員名	宮本 千津子／安藤 瑞穂／平田 美和／大西 淳子				
授業の概要及び到達目標					
<p>既習のフィジカルアセスメントおよび日常生活の援助を、看護職の立場から体験・実施することをおして、看護学概論等で学んだ看護の役割機能を現象のレベルで認識し理解を深めるとともに、これに照らして対象に行われる援助技術の目的と適応および方法を確認・思考し、生涯にわたる発展の基盤となる看護援助技術の学び方と、対象への援助に必要な基礎的な知識・技術を身に付ける。</p> <p>【実習目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.看護の役割機能を実際の看護実践と結び付けて説明できる 2.対象に行われる援助技術の目的と適応および方法を、既習の学習で得た知識・文献を用いて説明できる 3.体験を通して看護援助技術の学び方を理解し、自分の言葉で説明できる 4.対象への援助に必要な基礎的な知識・技術を身に付けることができる 5.看護専門職を目指すものとしての自覚を持ち、倫理的かつ責任のある行動をとることができる 					
準備学習等					
<ul style="list-style-type: none"> ・基礎看護援助方法 I・II で学習した内容を復習して実習に臨むこと。 ・フィールド学修ハンドブック、基礎看護援助実習 I 実習要項をよく読んで実習に臨むこと。 ・看護実践を振り返ることで自己の課題を明確にし、次の実践に向けて課題達成の計画を立案すること。 					
成績評価の方法	学習内容別評価基準に基づく評価 90%、最終レポート 10%とし、総合的に評価する。				
テキスト	指定しない				

参考図書	看護学概論・基礎看護援助方法Ⅰ・Ⅱで使用するテキスト
備考	科目の詳細は実習要項を参照すること。 オフィスアワーは、履修案内の看護学科「オフィスアワー」の項をご参照下さい。
授 業 計 画	
<p>実習は合計で 5 日間である。</p> <p>臨地実習の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護師に同行し、対象に応じた看護実践（バイタルサイン測定、清潔ケア、等）に参加する。 ・看護実践を振り返ることで自己の課題を明確にし、次の実践に向けて課題達成の計画を立案する。 ・各日とも、その日の振り返りおよび指定のテーマでカンファレンスを実施し、学びを共有する。 <p>実習病院</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JCHO 船橋中央病院 ・JCHO 東京城東病院 ・JCHO 東京新宿メディカルセンター ・JCHO 東京山手メディカルセンター <p>学内実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体オリエンテーション、実習施設別オリエンテーションを受ける。 ・臨地実習前に、各自が看護技術（バイタルサイン測定、清潔ケア）の演習を行い、バイタルサイン測定実技試験を受ける。 ・臨地実習①②の後は、自ら見出した課題の達成に向け、バイタルサイン測定、清潔ケア、等に関する演習を行う。 ・実習のまとめは、個別面接、自己評価、記録の整理、レポート作成を行う。 	